



平成 28 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 国際計測器株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松本 繁  
( J A S D A Q ・ コード 7722 )  
問合せ先 取締役総務部長 松本 博司  
電話番号 042-371-4211

## 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び 通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想数値並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,000	百万円 750	百万円 750	百万円 460	円銭 32.82
今回実績 (B)	5,167	253	91	16	1.16
増減額 (B) - (A)	△833	△497	△659	△444	
増減率 (%)	△13.9	△66.3	△87.9	△96.5	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	7,694	1,431	1,436	930	66.36

## 2. 平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,500	百万円 1,700	百万円 1,700	百万円 1,100	円銭 78.48
今回発表予想 (B)	11,000	1,150	900	500	35.67
増減額 (B) - (A)	△1,500	△550	△800	△600	
増減率 (%)	△12.0	△32.4	△47.1	△54.5	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	14,920	2,384	2,253	1,315	93.82

(差異及び修正の理由)

### 第 2 四半期累計期間

売上高につきましては、前期上半期まで継続しておりました中国の中堅タイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機の設備投資特需が一巡した反動により、前期下半期及び当期上半期のタイヤ関連試験機の受注が大幅に減少したことなどから、当初の予想に対し減収となりました。

利益面につきましては、減収による減益の影響や、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が、円高ドル安に推移し為替差損が発生したことなどから、当初の予想を下回りました。

### 通期

売上高につきましては、上記の通り、受注が大幅に減少しており、通期売上高にも大きく影響するものと予想され、当初の予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、費用の圧縮などあらゆる施策を実施してまいり所存ではありますが、上記の通り、減収による減益の影響や為替差損が発生していることなどから、当初の予想を下回る見込みであります。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年5月13日発表)	円銭 —	円銭 20.00	円銭 —	円銭 20.00	円銭 40.00
今回修正予想	—	—	—	10.00	30.00
当期実績	—	20.00	—		
前期実績 (平成28年3月期)	—	30.00	—	35.00	65.00

(修正の理由)

当社は株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付けており、安定的な経営基盤の強化を図り、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、安定かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

平成29年3月期の配当予想につきましては、上記の業績予想の修正のとおり想定を下回る見通しのため、誠に遺憾ではありますが、期末配当を当初予定の20円から10円に修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上